

会 議 録

- 1 会 議 名 令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金の配分に関する会議
- 2 会 議 種 別 市政運営上会合
- 3 議 題 令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金の配分について
- 4 開 催 日 時 令和6年2月6日(火) 15時00分~15時30分
- 5 開 催 場 所 北九州市役所本庁舎 5階 プレゼンルーム
(北九州市小倉北区城内1番1号)
- 6 出 席 者 氏 名 【構成員】 太田構成員、杉本構成員
右田構成員、森野構成員 (五十音順)
【事務局】 保健福祉局 星之内総務部長、小河総務課長
松尾社会振興係長、正木主査
- 7 会 議 経 過
 - (1) 開会
 - (2) 構成員紹介
 - (3) 座長、副座長の選出
座長：杉本構成員、副座長：太田構成員
 - (4) 会議経過(発言要旨)
 - <事務局> 配布資料「令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金の配分について」に基づき説明
 - <構成員> 被害住家の所在区の内訳はどのようになっているか。
 - <事務局> 門司区4棟(半壊1棟、一部損壊3棟)、八幡東区2棟(半壊1棟、一部損壊1棟)、八幡西区1棟(一部損壊1棟)、戸畑区1棟(一部損壊1棟)。
 - <構成員> 被害住家が建っている場所は、山際なのか。
 - <事務局> 被害状況の報告によると、土砂災害、がけ崩れがほとんどである。

- 〈構成員〉 本日こちらに来る際、山際に多くの住宅が建っているのが電車から見え、危険だと感じた。危険を察知して被害に遭わないようにしないといけないと改めて感じた。
- 前回の災害のときも、門司でがけ崩れがあったことを思い出した。
- 〈事務局〉 平成30年のときも、門司区大里地区の急傾斜地で被害があったと聞いている。
- 〈構成員〉 今回、人的被害が無かったのは良かったと思う。
- 〈構成員〉 北九州市はレッドゾーンが多い。八幡東区など。大雨になったらこのような土砂災害が起こり得るとのことだ。
- 〈事務局〉 補足として、門司区の中規模半壊、八幡東区の半壊の世帯ついて、中規模半壊の2世帯は元の住居から離れて生活をしており、元の住居に戻るかは検討中で、半壊の世帯については被災住居に居住中ということだ。
- 〈構成員〉 能登地震を見ても、元の住居を離れ難いということなのだろう。気持ちは分かる。しかし、二次災害も心配だ。
- 〈構成員〉 第1回目の配分ということだが、義援金の募集はまだ続いているのか。
- 〈事務局〉 継続中です。
- 〈構成員〉 今回の災害に際しては、社会福祉協議会でボランティアを募集し、依頼のあったところへ支援に行った。
- がけ崩れであったが、今回の義援金の対象となっていると思う。
- 福岡県が決定した配分基準に準じた配分基準・配分額とすることに対する異議はなかった。
- 〈事務局〉 今回の意見を踏まえ、市として配分基準等を決定し、被災世帯へ配分したい。
- 今後、福岡県等から配分された義援金についても、今回と同様の配分基準に基づき配分することとし、配分した際は構成員に書面で報告したい。
- 〈構成員〉 異議なし

8 その他 傍聴者 なし

9 問い合わせ先 保健福祉局総務部総務課社会振興係
電話番号 093-582-2497